

清瀬中学校区 小中連携教育 報告会

(1) 研究の目的と目指す 児童・生徒像について

研究の目的

実践的な研究を通して、小中連携教育の取組の充実を図る

目指す児童・生徒像

- ①知識や技能を確実に身に付け、活躍できる児童・生徒
- ②自他の生命や人権を尊重し、多様性を受け入れて判断・行動できる児童・生徒
- ③地域の一員としての自覚と責任をもち、地域へ働きかけることができる児童・生徒

(2) 学力向上推進分科会

学力向上の目的

「生きる力」や「考える力」を育む



基礎学力や思考力・判断力等の
定着を図ること

第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン(抜粋)

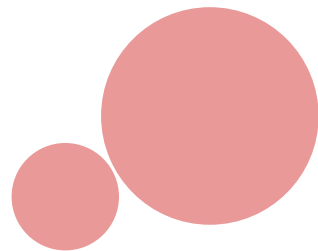


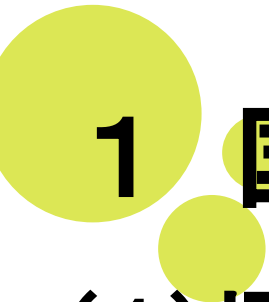
学力向上推進分科会

■ 国語

■ 算数

■ 外国語活動・英語



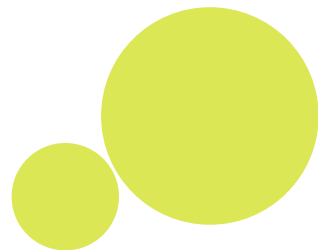


1 国語

(1) 児童生徒の交流

(2) 読書の習慣付け

(3) 語彙力の定着



〈数直線のかき方〉



数直線の基本のルールはこれだよ

- 2本とも数直線の左端は0とする。
- 右へ行くほど大きくなる。

①基本の形をかく。

- 2種類の量があるので2本の数直線进行かく。

②単位を入れる。(1がある方が下)

③分かっている数値を入れる。

- 数値が2つとも分かっている単位から入れる。
- どちらに入れるか、数の大きさに判断する。
- もう一方の単位の方にも数値を入れる。
- 同じものを表す数はたてにそろえる。

④分からない数を口で表す。

⑤1からもう一方に向かう矢印をかく。

この4つがポイント！



3 外国語活動・英語

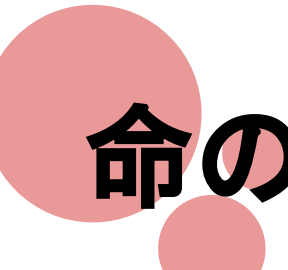
✎ 中学 2 年生の授業 ✎

清瀬小・清瀬八小の皆さん、こんにちは！

中学 2 年では,Unit4 What is important in a homestay?

という単元で、『話すこと（発表）』についての単元末活動を行いました！

(3)いのちの教育推進分科会

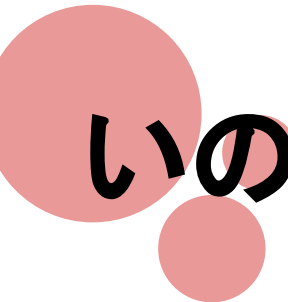


命の教育の目的

生きていることに喜びを見出し、自らの生命を大切にするとともに、他者の生命も同様に尊重する心を育むこと

清瀬市教育委員会HP



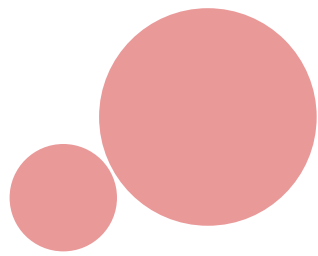


いのちの教育推進分科会

■いのちの週間

■いのちの学習

■SDGs



1 いのちの週間

(1) 本紹介

児童・生徒が「いのち」について考えるきっかけとなる
ように、「いのち」についての本を紹介した。

1 いのちの週間

(2)心のケア

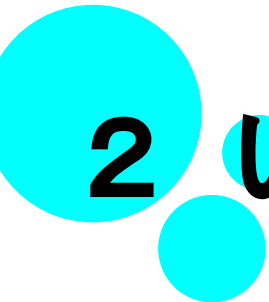
- ・夏季休業明け全員面談（清瀬小）
- ・安全指導～心のSOSに気付こう（清瀬第八小）
- ・月1回の心のアンケート、学期ごとのふれあいアンケート（清瀬中）

安全指導や**全員面談、定期的なアンケート**を通して、
児童生徒の心のケアを実施した。

1 いのちの週間

(3) ポスター掲示

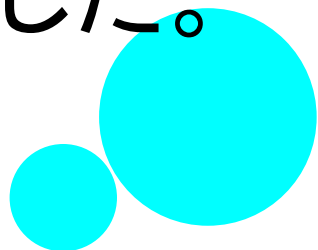
- ・保健委員会等で作成
- ・いのちの週間に合わせ校内へ掲示
- ・ポスターを通して、
児童生徒に命の尊さを広めた。



2 いのちの学習部会

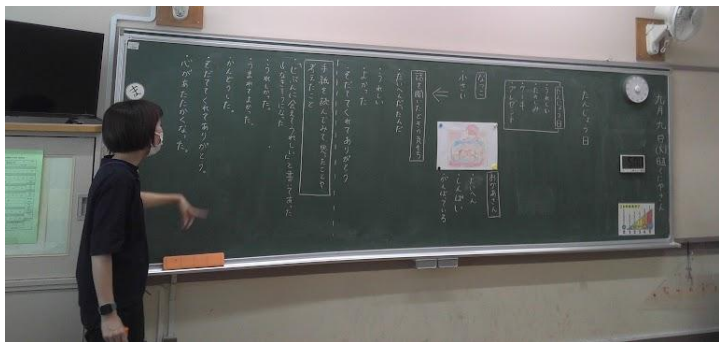
【取り組み】

いのちの大切さを児童・生徒が実感できる授業づくりを、連携して検討・実践した。



2 いのちの学習部会

(1) 小学校第2学年



● 成果

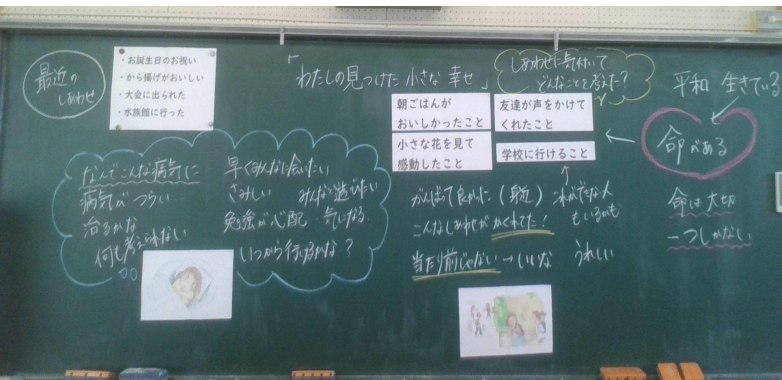
- ・産んでくれたことに対しての感謝の意見が出た。

● 課題

- ・実際に保育器に入っている様子の動画を見せた方が命の大切さを実感できた。
- ・自分の命を大切にしようという感想は出てこなかった。発問を厳選した方が良かった。

2 いのちの学習部会

(2)小学校第4学年



●成果

日常の中の当たり前のこと
が「幸せ」と気付くことが
できた。

●課題

児童の発達段階や教材に合
わせて、ねらいを設定する必
要がある。

2 いのちの学習部会

(3)中学校第2・3学年

●成果

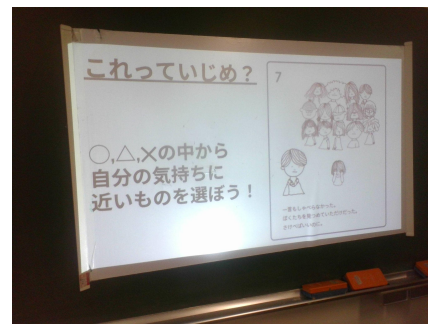
・いじめがいけないことであると再認識するきっかけとなった。

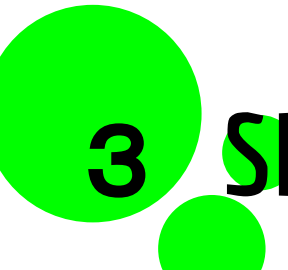
・スマートフォンを教材としていて、自分自身の事と捉えて考えることができていた。

●課題

・いじめはだめなものとしてありきたりな考えで終わってしまう生徒が一定数いた。

・傍観者をいじめと考えていない生徒がいる。





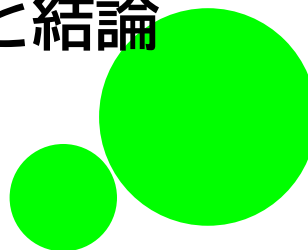
3 SDGs部会

(1)目標

給食の残菜を減少させる。

※ 経緯

持続可能な社会の形成にあたり、児童生徒が取り組み可能な内容は項目(12)つくる責任つかう責任が該当すると結論づけた。



3 SDGs部会

(2) 全体の流れ

- ①清瀬中学校の保健給食委員会が
残菜を減らすための啓発動画を作
成し、清瀬小、清瀬八小に送る。
- ②各校の給食委員会で動画を視聴
し、残菜を減らすための取り組みを
行う。

各小学校の取り組み(八小)

- ①栄養士と連携し、残菜量がどれくらいか給食
委員会で調べる。
- ②残菜量の実態を踏まえて残菜を減らす取り
組みを委員会で検討し、実践する。

各小学校の取り組み(清瀬小)

- ①清瀬中学校の保健給食委員会からの啓発
動画を元に、給食委員会を中心に「からっぽ
賞」を設定し、自分で決めた量を食べること
奨励する。
- ②全校の残菜量を栄養士と連携し、
給食の放送で伝える。

3 SDGs部会

(3) 成果と課題

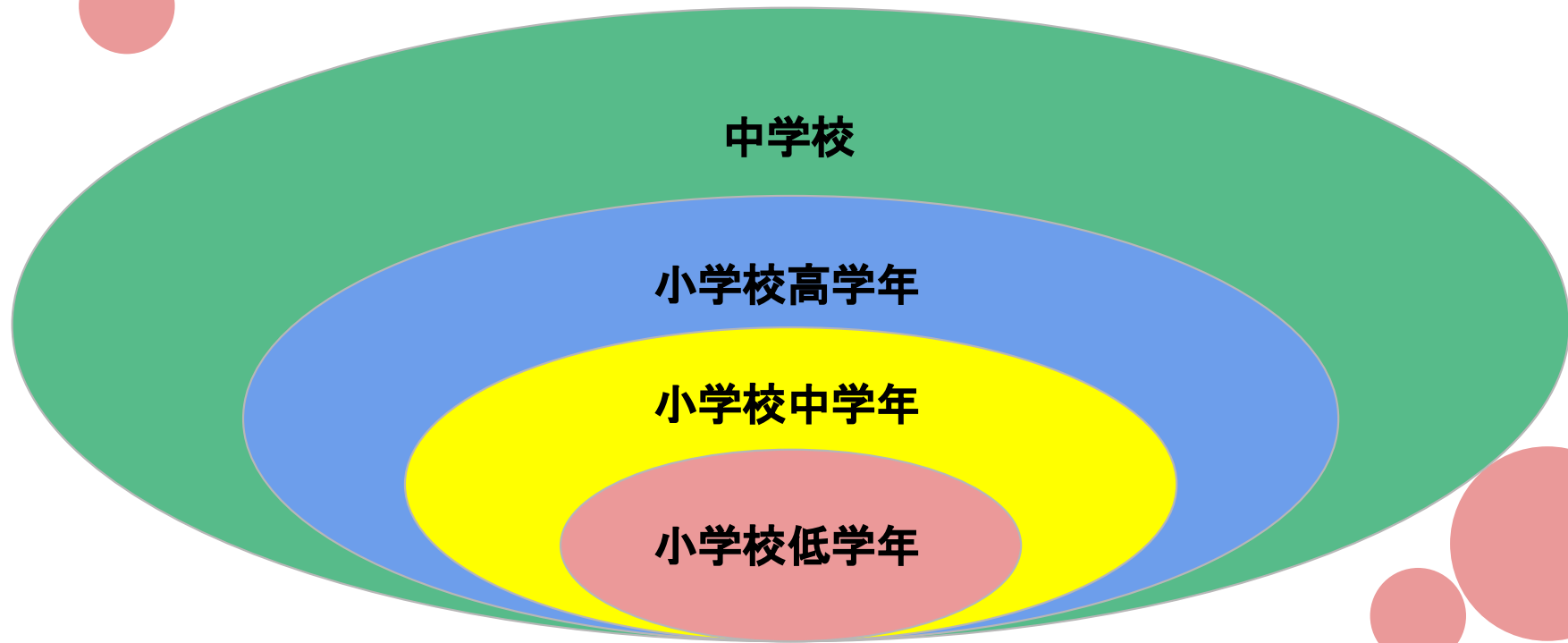
● 成果

- ・捨てられる食料を減らそうとする意識が高まった。
- ・小中の動画を共有することによって一緒に努力する仲間がいるということに気づくことができた。

● 課題

- ・給食の時間という限られた時間や、子供たちの食に関する経験の差に起因している。

いのちの教育



(4) 地域活動推進分科会

小中連携における地域活動の目的

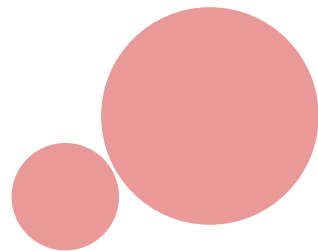
相互に連携

- 学校生活をより豊かに
- 人間関係や経験を広げる
- 広い視野に立って教育活動を！



地域活動推進分科会

- 小小連携（清瀬小・第八小）
- 小中連携（清中・清小・八小）



1 小小連携

(1) 町たんけんのまとめ交流(2年生)

生活科で学習した町たんけんのまとめを交換しました。

互いの地域を知ることができました。

個人情報に配慮し、
本写真は掲載していません。

1 小小連携

(2) 行事を通じた交流(全学年)

清瀬小の「学習発表会」と八小の「音楽会」の動画を見合う



メッセージの交換

個人情報に配慮し、
本写真は掲載して
おりません。

八小から
清瀬小へ

個人情報に配慮し、
本写真は掲載して
おりません。

清瀬小から
八小へ

2 小中連携



～清瀬の野菜をおいしく食べようコンテスト～

＜内容と方法＞

- ①【地域理解】 地場野菜を活用した給食
- ②【小中連携】各校のメニュー案の共有
- ③【地域貢献】地場野菜メニューを給食で実食！

2 小中連携 成果



～成果～

- ・「同じ給食メニューを食べている」という一体感
- ・小中学校で共通のメニューで、垣根を超えた食育
- ・次年度の小中連携に向けた課題の創出

2 小中連携 課題

～課題～

- ・栄養職員と教員が連携するための十分な時間調整の確保

→ 栄養職員と教員の連携

- ・3枚分のメニューを同じ月に実施する調整

（統一メニューのため）

→ 献立調整の難しさ

3 地域活動推進分科会の成果

○現在の中学1年生・中学3年生の「地域や社会を良くするために何かしてみたいか」という質問に対しての、肯定的な回答。

R6年度

小6 81.4%

中2 52.1%



現在の中学3年生では
26.6%の上昇！

R7年度

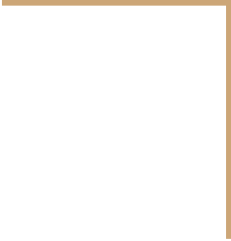
中1 79%

中3 78.7%

3 小中連携 アンケートの結果

○地域や社会を良くするために、学校や地域全体で
やってみたい、取り組んでみたいと思うこと。

- ・地域のゴミ拾い ・地域共同の防災活動
- ・清瀬産の野菜を広める活動
- ・引き続きオリジナルメニューの作成 & 地産地消に
ついて学ぶ
- ・清瀬市の良さについてのスピーチコンテストの実施



(5) 成果と課題 次年度の取り組みについて



成果指標について(教科調査)

【目標】東京都平均を上回る

国語・算数数学	小2校	小 都平均	清瀬中	中 都平均
小 国語 知識・技能	73.8%	76.6%		
小 算数 知識・技能	62.6%	70.9%		
中 国語 知識・技能			46.5%	51.7%
中 数学 知識・技能			57.6%	58.30%

R7 全国学力・学習状況調査【教科調査】結果より

成果指標について(質問調査)

【目標...肯定的回答割合を増加する】

質問調査	小2校	小 都平均	清瀬中	中 都平均
①地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか(清瀬を誇る気持ち)	82.8%	79.0%	78.6%	60.30%
②いじめはどのような理由があってもいけないことと思いますか(生命尊重)	96.3%	96.4%	96.0%	94.60%
③自分にはよいところがあると思いますか(生命尊重)	93.5%	87.2%	82.7%	80.10%

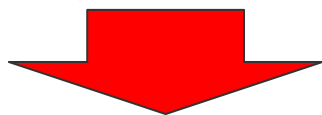
R7 全国学力・学習状況調査【質問調査】結果より

研究の目的

実践的な研究を通して、小中連携教育の取組の充実を図る

目指す児童・生徒像

- ①知識や技能を確実に身に付け、活躍できる児童・生徒
- ②自他の生命や人権を尊重し、多様性を受け入れて判断・行動できる児童・生徒
- ③地域の一員としての自覚と責任をもち、地域へ働きかけることができる児童・生徒



- ・研究3年目で**児童生徒,教員の意識**はどのように変容したのか？
- ・各部会の研究テーマがどのように作用したのか？